



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学A0入試：平成13年度-15年度
Author(s)	山岸, みどり
Citation	大学入試研究ジャーナル, 14, 57-62
Issue Date	2004
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/49286
Type	journal article
File Information	exam14_57.pdf



北海道大学AO入試

——平成13年度～15年度——

山岸 みどり (北海道大学)

本稿は、北海道大学AO入試の初年度から3年目までの動向を概観し、「選抜型」AO入試の現状について考察することを目的としている。3回にわたる北海道大学AO入試には、全国470高校から総計941名の出願があり242名が合格した。AO入試合格者は前期日程合格者に比べ、大学進学に対してより明確な目的意識を持ち、勉学意欲も高いことが明らかになった。しかし、基礎学力の測定方法などの課題が残されていることが指摘された。

1. はじめに

国立大学におけるAO入試（アドミッションオフィス方式による入試）は、平成12年度に東北大学、筑波大学、九州大学にはじめて導入され、平成15年度には16大学で実施されるに至った。北海道大学AO入試は、平成13年度に5学部（経済、理、歯、薬、水産）で始まり、平成14年度に3学部（教育、工：材料・化学系、農：農業工学科）、平成15年度に理学部生物科学科が加わり8学部4学科¹⁾で実施された。本稿は、平成13年度から3回にわたる北海道大学におけるAO入試の結果を概観し、国立大学AO入試の一事例として考察することを目的としている。

2. AO入試の概要

北海道大学AO入試は「選抜型」で、教育学部²⁾以外は現役生のみを対象に、書類審査による第一次選考（11月初旬）、課題論文と面接による第二次選考（11月末）の二段階選抜を行っている（詳細は、鈴木ほか2002；山岸2002を参照）。どの学部もセンター試験は課していないが、入学後の授業についてゆける基礎学力を有していることを強く求めている。AO入試実施学部（学科）は、学生募集要項にAO入試を行なう目的、求める学生像、選抜基準、選抜資料の配点を明示している。第一次・二次選考とも各学部（学科）の実施委員会が行なう。

第一次選考は、「調査書」、志願者が記入し

た「自己推薦書」と「諸活動の記録」、志願者をよく知る人が記入した「個人評価書」の内容に基づき、学力と人物評価が行われる。教育学部、理学部、薬学部は「諸活動の記録」は用いていない。各資料の配点は、アドミッションポリシーの違いを反映し、学部毎に異なっている（表1参照）。たとえば、調査書の配点を大きくすると学業成績がより重視され、自己推薦書の配点を大きくすると、行動や考え方がより重視され、異なる資質の学生像が具体的に示される。いくつかの学部（学科）は配点の変更を行っている。

第二次選考においては、課題論文と面接が課され、各専門分野の求める適性や特性についての評価が行なわれる。課題論文と面接のねらいと配点も、学生募集要項に明示されている。課題論文は90分から150分かけて実施される。面接は約30分の個人面接が中心であるが、ディベートや口頭試問を含める学部（学科）もある。

3. AO入試志願者と合格者の動向

3.1 属性の推移傾向

平成13年度から15年度までの北海道大学AO入試の結果は表2に示したとおりである。AO入試実施学部（学科）の定員に対するAO入試募集人員の占める割合は、多い順に26.7%（農学部農業工学科）、18.8%（薬学部）、16.7%（歯学部）、16.7%（理学部地球科学科）³⁾、15.5%（工学部材料・化学系）、13.3%（理学部

化学科), 12.5% (理学部生物学科)⁴⁾, 7.4% (水産学部), 5.3% (経済学部), 4% (教育学部) である。平成15年度AO入試の募集人員の総計は98名で, 募集人員全体の4.2%であった。AO入試募集人員総計に対する志願者の倍率は, 初年度の4.2倍から3.5 (平成14年度), 3.2 (平成15年度) と漸減傾向を示している。しかし, 募集単位別の倍率を見てみると, 年度による変動の大きい学部と変動の少ない学部があり, 一貫したパターンを読み取るのは困難である。

平成13年度から15年度のAO入試志願者, 第一次選考合格者, 第二次選考合格者のそれぞれに対する女子の比率の推移を表3に, 道内出身者の比率の推移を表4に示した。各年度の合格者全体に対する女子の比率は, 42.2%, 46.2%, 49.4%, 道内高校出身者の比率は45.3%, 46.2%, 36.8%であった。AO入試の志願者及び合格者に対する道内高校出身者の比率は, 北海道大学の過去の一般入試の結果に近い傾向を示している。他方, 女子の比率は, 一貫して過去の一般入試の結果 (25%前後) の倍近い数値になっている。しかし, 道内出身者と女子の比率についても募集単位及び年度による変動が大きい。各年度の公立高校出身者の占める割合は, 68.8%, 72.5%, 73.5%で, 過去の一般入試の結果に近い傾向であった。

3.2 出身高校の特性

AO入試志願者の出身高校は全国にわたっている。平成13年度から15年度までの3回のAO入試に対し, 全国470高校から総計941名の志願者があった。その中から154校の志願者242名が合格した。高校別のAO入試志願者数は1名から17名まで分布し, 志願者1名のみ的高校が75%以上を占めた。242名のうち87名 (35.5%) は, 過去3年間に北海道大学への合格者や出願者のなかった高校 (72校, 46.8%) の出身者であった。また, 教育学部以外の合格者のうち, 専門課程出身者の比率は, 4.6%, 9%, 16.6% と増加している。以上のことから, AO入試は北海道大学の志願者及び合格者の多様性を促進している

ことが明らかになった。

4. AO入試合格者の特徴

4.1 進路選択の意識と行動

AO入試の合格者の入学時における特徴を, 平成14年度の新入生を対象にアドミッションセンターが実施した質問紙調査の結果からとらえてみることにする。この調査は, 入学手続き終了者全員に教務関係の書類とともに送付され, 平成14年度の入学式の前日に実施された新入生オリエンテーションの会場で回収された。有効回答者総数は2,309名 (回収率, 98%) であった。質問紙は, 北海道大学への進学理由, 大学情報の利用状況など7つの質問とフェイスシートから構成されている。各問の項目毎に, 3つの入試区分 (AO: 93名, 前期日程: 1,738名, 後期日程: 222名) 間の回答傾向に有意な差があるかどうかを調べた。分散分析と多重比較の結果, AO入試合格者の以下のような特徴が明らかになった。1) 前期日程合格者より勉学意欲が高く, 大学院への進学意欲も高い, 2) 大学進学や将来に対してより明確な目的意識を持っている, 3) 一般入試合格者に較べて, 北海道大学に関する情報収集を積極的に行い, 大学発信の情報を「とても役に立った」と評価している。これらの結果の一部を図1~図3に示した。

AO入試合格者と一般入試合格者の進路選択の意識や行動の差がきわだっている項目は, 「国際的な舞台で活躍したい」, 「おそわりたい先生がいる」, 「やりたいことを見つける」, 「高校の先生の勧め」である。AO入試合格者は, ホームページの利用者や体験入学の参加者の割合も一般入試合格者に較べて非常に高い。高等学校の進路指導室を利用していた生徒の比率も高い。AO入試合格者は, 北海道大学への進学に対して明確な目標を持ち大学に関する積極的な情報収集活動を行っており, AO入試が期待した意識と行動傾向をもつ生徒が選抜されていることが明らかになった。

4.2 学力

北海道大学 AO 入試は、歯学部以外は高等学校の成績（評定平均値）による受験資格の制限を設けていない。平成 13 年度 AO 入試合格者の学習成績概評の分布は、④が 29.7%、A が 50%、B が 18.8%、C が 1.6%であった。平成 14 年度と平成 15 年度は、④が 23%に下がり、B が 30%近くに増えている。AO 入試第 1 期生の 1 年次修了時の成績は、学部のトップレベルから留年（1 名）まで広く分布しており、「優」の取得率は 13%から 97%で平均 46.7%であった。

5. 考察

国立大学の AO 入試は、大学側の大きな期待に対して高校側の消極的な姿勢とのズレがしばしば問題になってきた。北海道大学 AO 入試においても、初年度には「第一次選考で合格した学生は全員入学させたい」という学部があったが、3 年目には 2 学部で募集人員を大きく下回る合格者を出す結果となり、大学の期待を十分実現するまでには至っていない。しかし、AO 入試は、日本の大学入試制度が「大学による一方的選抜」から「相互選択」や「高大連携」を重視する新しいパラダイムに移行する中で構想された、実験的な色彩の強い制度である。このため、まだ試行錯誤が続いている段階ではあるが、過去 3 年間の経験の中に、AO 入試はそのねらいをある程度実現し、定着するきざしをみせていると判断できる手がかりを得ることができた。

第一に、新入生調査の結果に示されたように、AO 入試合格者は、一般入試入学者とはっきり異なる進学意識をもち、勉学意欲も高い生徒を選抜しており、AO 入試の募集や選抜方法の妥当性が示唆されたことである。第二に、高等学校進路指導部への継続的な聞き取り調査から、AO 入試にふさわしい生徒を見出したり、出願を動機付けたりする要因や状況が明らかになってきたことが挙げられる。たとえば、AO 入試の趣旨を理解し期待をもつ高校教員は、AO 入試の求める学生像に適

合する特性を持った生徒を積極的に見出し、一般入試をめざしている生徒に対しても AO 入試の情報を積極的に提供している。また、AO 入試合格者を出した高校の中には、後輩が AO 入試を身近に感じて、目標として頑張る例が報告されている。いくつかの高等学校は、過去の受験実績やその他の情報収集を通じて、北海道大学 AO 入試の選抜基準や求める学生像に対して具体的な「ものさし」をつくりつつあることがわかった。この「ものさし」は、AO 入試出願希望者の合格可能性を推測し、助言の際の基準になるもので、出願者の質を左右する重要な役割を果たしている。

北海道大学 AO 入試に対して「学力が関係ない入試」、「早く合格がきまる入試」、「一般入試では受かりそうもないから」、と考える受験生が増えている。このような受験生の多くは、意欲を裏付ける証拠が少なく、課題論文や面接で要求されるレベルの学力が不足している。AO 入試は大学・受験生・高校のそれぞれに手間ひまをかけさせる入試である。AO 入試の有効性を高めるためには、今後、「求める学生像」にあてはまらない資質の生徒が受験を控えるような工夫や、入学後の勉学に必要な基礎学力を見極めるための効果的な測定方法を構築することが不可欠である。

注

- 1) 理学部、工学部、農学部の AO 入試の募集単位は学科である。
- 2) 教育学部の AO 入試は、専門高校生特別選抜から移行したものである。
- 3) 地球惑星物質科学分野
- 4) 生物学分野

文献

- 鈴木誠・山岸みどり・阿部和厚・池田文人、2002、「北海道大学における AO 入試マニュアル」『高等教育ジャーナル』10: 49-58.
- 山岸みどり、2002、「北海道大学 AO 入試の現況」『物理教育』50: 309-312.

表1 AO入試配点表

学部		教育学部			経済学部			理学部								歯学部			薬学部			工学部			農学部			水産学部		
								地球科学科			化学科			生物科学科	材料・化学系							農業工学科								
		年度	13	14	15	13	14	15	13	14	15	13	14	15	15	13	14	15	13	14	15	13	14	15	13	14	15	13	14	15
一次選考	調査書	—	50	50	50	50	50	30	30	40	60	60	60	40	50	50	50	60	60	60	—	50	60	—	60	60	50	50	50	
	個人評価書	—	20	20	20	20	20	30	30	20	20	20	20	30	50	50	50	20	20	40	—	20	40	—	20	20	50	50	50	
	自己推薦書	—	30	30	30	30	30	40	40	40	20	20	20	30				20	20		—	30		—	20	20				
	諸活動の記録	—	—	—				—	—	—	—	—	—	—				—	—					—		—				—
二次選考	課題論文	—	40	40	30	50	50	60	60	50	50	50	50	50	50	50	50	40	40	40	—	30	40	—	50	50	40	40	40	
	面接	—	40	40	50	50	50	40	40	50	50	50	50	50	50	50	50	40	40	40	—	50	40	—	50	50	40	40	40	
	一次選考評価	—	20	20	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	—	—	—	—	—	—	—	
	調査書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	20	20	—	—	20	—	—	—	20	20	20	

表2 平成13年度～15年度AO入試の結果

学部・学科(系)		募集 定員	志願者数			倍率			第1次選考合格者数			第2次選考合格者数		
			H.13	H.14	H.15	H.13	H.14	H.15	H.13	H.14	H.15	H.13	H.14	H.15
教育学部 ¹⁾		2	—	4 (2)	9 (3)	—	2.0	4.5	—	4 (2)	9 (3)	—	2 (2)	2 (1)
経済学部		10	60 (23)	63 (25)	55 (18)	6.0	6.3	5.5	30 (17)	34 (11)	30 (13)	9 (6)	10 (4)	10 (6)
理 学 部	地球科学科	5	24 (7)	13 (4)	15 (6)	4.8	2.6	3.0	15 (6)	13 (4)	15 (6)	5 (2)	5 (3)	5 (2)
	化学科	10 ²⁾	19 (4)	30 (5)	22 (8)	2.4	3.0	2.2	14 (4)	22 (5)	18 (8)	9 (3)	10 (4)	10 (5)
	生物科学科	5	—	—	35 (18)	—	—	7.0	—	—	14 (8)	—	—	6 (6)
歯学部		10	24 (10)	27 (17)	24 (14)	2.4	2.7	2.4	15 (7)	27 (17)	20 (12)	9 (5)	10 (9)	10 (6)
薬学部		15	105 (57)	108 (68)	80 (50)	7.0	7.2	5.3	47 (25)	45 (23)	48 (28)	15 (7)	15 (7)	10 (9)
工学部材料・化学系		17	—	39 (6)	20 (3)	—	2.3	1.2	—	38 (6)	19 (3)	—	17 (4)	10 (2)
農学部農業工学科		8	—	8 (1)	13 (1)	—	1.0	1.6	—	6 (1)	9 (1)	—	6 (1)	8 (1)
水産学部		16	39 (10)	37 (15)	41 (15)	2.4	2.3	2.6	23 (9)	29 (13)	27 (10)	17 (4)	16 (8)	16 (5)
計		98	271 (111)	329 (143)	314 (136)	4.2	3.5	3.2	154 (68)	218 (82)	209 (92)	64 (27)	91 (42)	87 (43)

()内は女子で内数, 1)専門高校生のみのみ, 2)平成13年度の募集定員は8名

北海道大学 AO 入試

表 3 女子の比率の推移

(数値は%を示す)

学部・学科(系)		募集 定員	志願者			第一次選考合格者			第二次選考合格者		
			H.13	H.14	H.15	H.13	H.14	H.15	H.13	H.14	H.15
教育学部 ¹⁾		2	—	50.0	33.3	—	50.0	33.3	—	100	50.0
経済学部		10	38.3	39.7	32.7	56.7	32.4	43.3	66.7	40.0	60.0
理 学 部	地球科学科	5	29.2	30.8	40.0	40.0	30.8	40.0	40.0	60.0	40.0
	化学科	10 ²⁾	21.0	16.7	36.4	28.6	22.7	44.4	33.3	40.0	50.0
	生物科学科	5	—	—	51.4	—	—	57.1	—	—	100
歯学部		10	41.7	63.0	58.3	46.7	63.0	60.0	55.6	90.0	60.0
薬学部		15	54.3	63.0	62.5	53.2	51.1	58.3	46.7	46.7	90.0
工学部材料・化学系		17	—	15.4	15.0	—	15.8	15.8	—	23.5	20.0
農学部農業工学科		8	—	12.5	7.7	—	16.7	11.1	—	16.7	12.5
水産学部		16	25.6	40.5	36.6	39.1	44.8	37.0	23.5	50.5	31.3
計		98	41.0	43.5	43.3	44.2	37.6	44.0	42.2	46.2	49.4

1)専門高校生のみ、2)平成13年度の募集定員は8名

表 4 道内者の比率の推移

(数値は%を示す)

学部・学科(系)		募集 定員	志願者			第一次選考合格者			第二次選考合格者		
			H.13	H.14	H.15	H.13	H.14	H.15	H.13	H.14	H.15
教育学部 ¹⁾		2	—	100	88.9	—	100	88.9	—	100	100
経済学部		10	61.7	55.6	61.8	63.3	58.8	60.0	66.7	50.0	60.0
理 学 部	地球科学科	5	41.7	38.5	13.3	33.3	38.5	13.3	20.0	40.0	40.0
	化学科	10 ²⁾	63.2	36.7	68.2	71.4	36.4	72.2	77.8	40.0	70.0
	生物科学科	5	—	—	22.9	—	—	28.6	—	—	16.7
歯学部		10	29.2	22.2	29.2	40.0	22.2	35.0	33.3	40.0	40.0
薬学部		15	48.6	43.5	45.0	57.4	68.9	58.3	60.0	80.0	20.0
工学部材料・化学系		17	—	51.3	15.0	—	50.0	15.8	—	41.2	30.0
農学部農業工学科		8	—	50.0	30.8	—	50.0	33.3	—	50.0	37.5
水産学部		16	23.1	21.6	24.4	26.1	17.2	25.9	17.6	18.8	12.5
計		98	46.5	42.6	40.4	47.4	46.3	44.5	45.3	46.2	36.8

1)専門高校生のみ、2)平成13年度の募集定員は8名

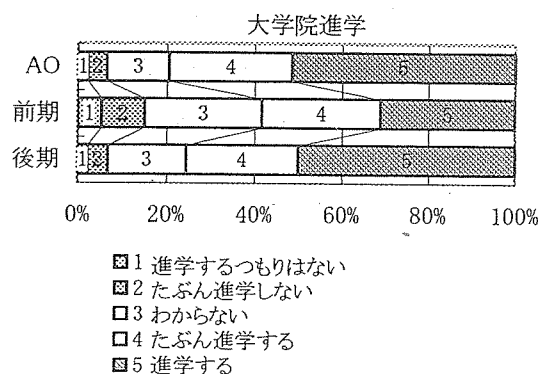
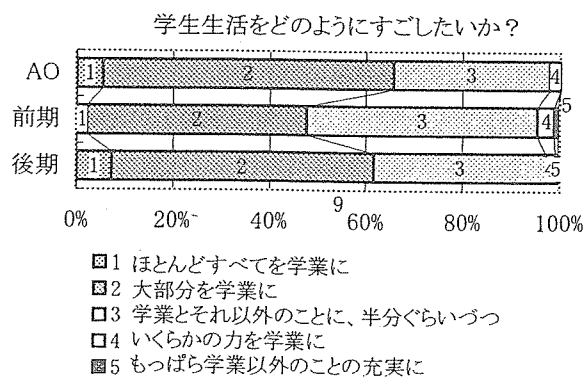


図 1 勉学意欲

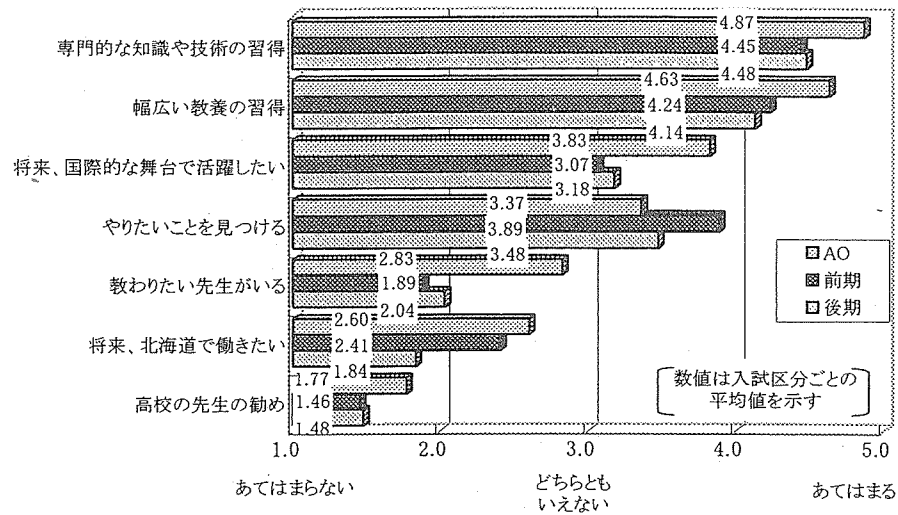


図2 北海道大学に進学したいと思った理由

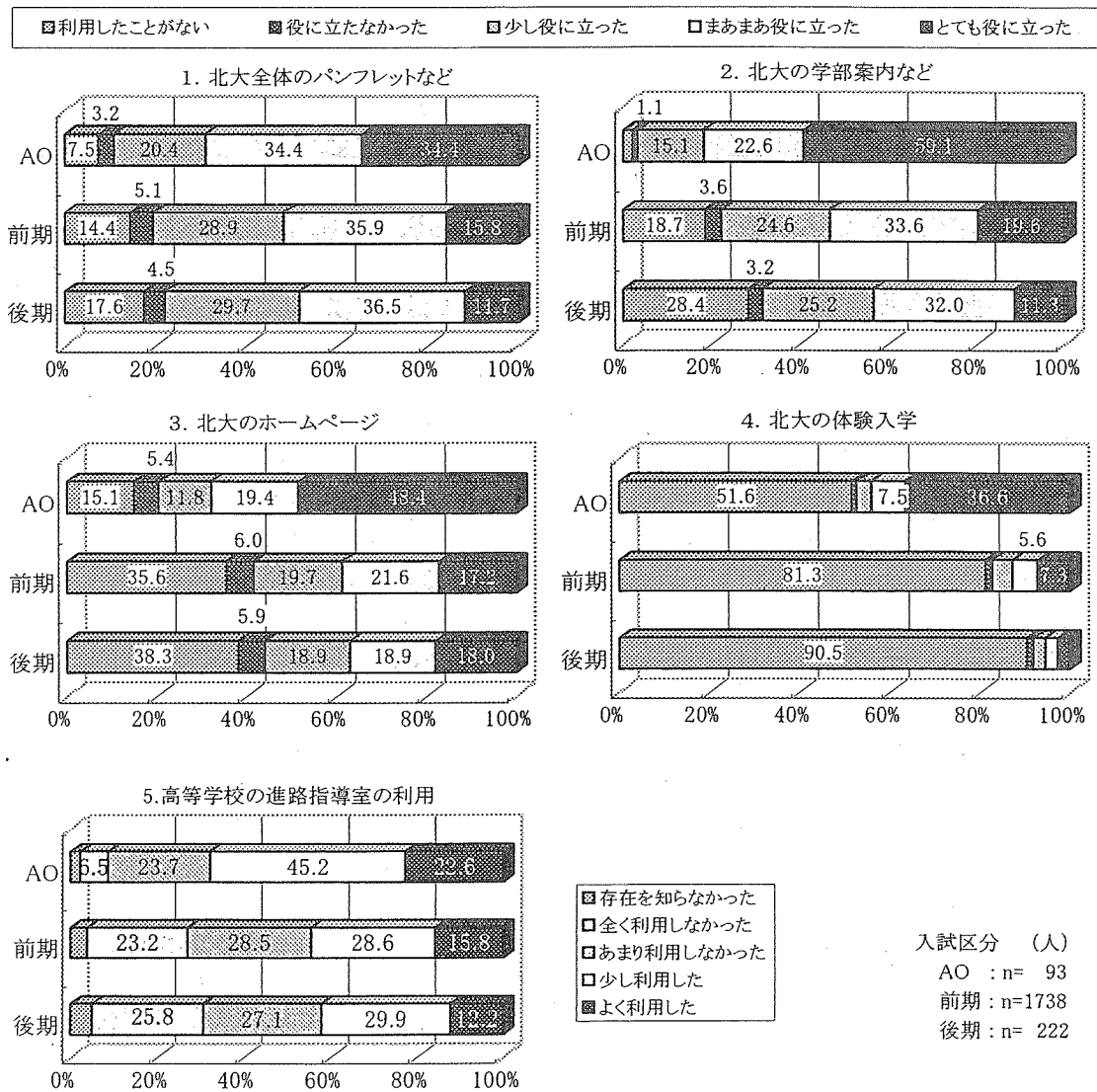


図3 北海道大学を知るにあたって役に立った情報